

第 5 期広域計画の骨子について

1. 踏まえるべき視点

関西広域連合設立の趣旨、これまでの取組の成果、課題に加え、「関西新時代宣言」や「提言・意見集 未来の希望を担う関西広域連合へ」、広域計画等推進委員会、関西経済界等からの意見などとともに、それぞれの分野等において以下のような視点から取り組む施策事業を検討する

- 「2025 年大阪・関西万博」の開催に向けた対応とその効果を関西全体に波及させるための取組
- 「ワールドマスターズゲームズ」の開催支援とその効果を関西全体に波及させるための取組
- ウィズコロナを意識した（経済活動や働き方、生活様式等の変化を踏まえた）取組
- デジタル化推進の取組
- 大規模広域災害を想定した取組
- 脱炭素社会の実現に向けたGXの取組
- 東京一極集中の是正に向けた取組
- SDGsの達成に向けた取組

2. 現行計画からの主な変更点

上記の視点を踏まえ、第 5 期広域計画骨子案を作成

今後、これらの視点、意見を更に反映して中間案を策定していく

○ 第 5 期広域計画の策定の趣旨

東京一極集中や少子高齢化、新型コロナウイルス感染症など、関西を取り巻く社会環境の変化に加え、「大阪・関西万博」やSDGsの推進、大規模広域災害等の危機などの新たな課題に幅広く対応し、今後の3年間も広域事務、政策の企画調整等の推進や分権型社会実現を目指した取組を進めるため、新たな計画を策定

○ これまでの取組の総括を、第 4 期の総括とする

第 3 期までの総括は資料編として編綴

○ 広域連合が目指すべき関西の将来像

・ 基本的な考え方

「広域計画等推進委員会」等の意見を踏まえ、表現を変更

【第4期広域計画】

- (1) 国土の双眼構造を実現し、分権型社会を先導する関西
- (2) 個性や強み、歴史や文化を活かして、地域全体が発展する関西
- (3) アジア・世界とつながる、新たな価値創造拠点・関西



【第5期広域計画】

- (1) 国土の双眼構造を実現し、新次元の分権型社会を先導する関西
- (2) デジタル化を推進し、個性や強み、歴史や文化を活かして、地域全体が発展する
関西
- (3) アジア・世界とつながる、新たな価値創造拠点・関西

○ 第5期広域計画の取組方針

・広域事務

「1. 踏まえるべき視点」を念頭に、各分野において取組（重点方針）を策定

・政策の企画調整等

⑪「デジタル化の推進」を追加

- 広域計画の推進のために、様々な主体との連携・協働が必要であることから、「第5
様々な主体との連携・協働」と「第6 広域計画の推進」を集約し再編

3. 今後のスケジュール

- ・ ～ 9月 広域連合委員会 : 中間案の協議等
- ・ 10月 広域連合委員会 : 中間案の確定
- ・ 11月 パブリックコメントの実施
- ・ 1月 広域連合委員会 : 広域計画（案）の確定
- ・ 3月 広域連合議会 : 広域計画（案）の議決